



慈

恩

雲林寺報第29号

2020年8月発行



1月2日 新年祈禱会

残暑お見舞い申し上げます

新型コロナウイルスにより、世界が不安と困難を強いられる、大変な日々が続く毎日です。

感染により尊い命を失われた方々に深く哀悼の意を捧げると共に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、医療従事者の皆様、ライフラインを支えて下さっている方々に深く感謝致します。

檀信徒皆様におかれましてはコロナ禍により自粛生活を余儀なくされている中で、各々が創意工夫した日常生活を送っておられることと拝察申し上げます。

当山においては、二月の節分会を最後に、寺としての行事もすべて中止であったり内献（内々で法要を勤める形式）での修行となりました。寺というのは、人々が集まってこそ価値のあるものだと考えております私にとりましては、行事の中止や、法事のキャンセル、また、地域の伝統行事の中止も相次ぎ、寂しさを感じずにはいられませんでした。

そして私自身、住職を拝命し半年以上が経ちましたが、日を追うごとにその重責を感じております。さらには過ぎ去った昔の困難な時代を生き抜き、この雲林寺を維持、護持して下さった歴代住職、時の檀信徒の先人方々には、敬服の念に堪えません。

壇信徒の皆様は、本年も命の集いであるお盆を心安らかに迎えられることと存じます。

これから秋の彼岸へと歩む中で、平常心を保ち、ご先祖様や先人の尊さに思いを馳せ、皆でしっかりと手を携え慈悲の心で、この困難な時代を乗り越えて参りましょう。

末筆になりますが、まだまだ残暑厳しい折、皆々様の法身堅固、諸縁吉祥であることを祈念申し上げ挨拶と致します。

雲林寺住職 轟 省吾

護持会だより

六月二十四日、総代会が行われました。今年は護持会の総会ができませんでした。今年には護持会の総会ができませんでした。今年には護持会の総会ができませんでした。今年には護持会の総会ができませんでした。

（長野原）
宮崎広保様―〔新〕唐沢明雄様
山口喜正様―〔新〕宮崎雅夫様
（羽根尾）
櫻井孝治様―〔新〕橋爪満男様
宮崎様、山口様、櫻井様には長く勤めて頂き、大変お世話になりました。ありがとうございます。

令和二年より新世話人さん紹介



岩木夏雄様 (長野原)



宮崎雅夫様 (長野原)



橋爪満男様 (羽根尾)



唐沢明雄様 (長野原)



齋藤光善様 (北軽井沢)



令和元年度 雲林寺護持会決算報告 (単位:円)

(収入)	
繰越金	1,921,360
護持会費	1,743,800
その他	220,018
合計	3,885,178
(支出)	
宗務費	608,640
会議費	613,920
慶弔費	162,352
助成金	100,000
積立金	1,000,000
その他	29,357
合計	2,514,269
差引繰越金	1,370,909
積立金総額	3,000,000



主な催しのご報告



① 昨年大晦日、午後十一時四十分より除夜の鐘を撞きました。来山頂いた方全員に鐘を撞いて頂き、千支のお守りをお配りいたしました。澄んだ美しい鐘の音色は、過ぎた一年の悩みや苦しみを取り去り、新しい年への希望と活力を与えてくれます。是非皆様お出かけください。

〔表紙の写真〕一月二日、総代、世話人様にお集まり頂き、新年祈禱会が行われました。新しい年が全檀信徒皆様にとって、幸多い年となりますよう御祈禱いたしました。

② 一月十五日、長野原町スポーツ少年団による寒中こども坐禅会が行われました。坐禅後は境内にて餅つき大会を行いました。

③ 二月三日、毎年恒例の節分会が行われました。法要では厄難消除招福万来を祈願しています。法要後、総代・世話人・厄年の方による豆まきが行われました。袋に入った豆は拾って食べることができ、豆袋の中には、番号が書かれていた紙があり、それを拾うと景品がもらえるという仕組みです。

④ 四月三日、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、大般若会を内献で修行致しました。今年も新型コロナウイルス終息祈願も行いました。祈禱した御札は後日、お配りさせて頂きました。

⑤ 四月八日はお釈迦様の誕生を祝う灌仏会（花まつり）でした。毎年梅花講の皆様と釈尊花祭第一番御詠歌（歓喜）をお唱えしておりましたが、今年は住職一人での修行となりました。

感謝録

二月三日の節分会では沢山のご寄付を頂き、ありがとうございました。毎年盛大に節分会が開催で

吉萬圓

田村 守様

櫻井 樹様

山口 誠様

黒井 久様

永井 元様

宮崎 透様

佐藤 平様

萩原 業様

割田 三男様

割田 裕美様

吉澤 建設様

金井 亭様

野口 明成様

浅白 観光自動車様

三 円 様

宮崎 広保様

青木 博文様

山口 幸一様

柴崎 年彦様

霜田 春男様

橋詰 隆夫様

キューピット様

二 円 様

浅間酒造商品券一万円

スーパー大津商品券五千円分

図書カード五千円

酒粕三十個

酒二十本

料理酒六本

マスク二十四箱

ルームシューズ三箱

ワンワンボールペン十八個

アロエクリーム十六個

チースケーキ五箱

タオル

せんべい詰合せ

スコッティティッシュ十個

コーヒー十個

タオル十本

彩果の宝石十箱

ティッシュ二十五箱

スポーツ用品福袋十個

スニーカーハウス市川様

チョコレート六箱

アイスノン五個

冷却シート

サージカルマスク五箱

スーパー大津様

油屋書店様

浅間酒造様

山屋商店様

果実酒一本

竹屋旅館様

松屋金物店様

髪かざり様

黒岩林業様

村上家様

レクス様

セブナイレブン長野原様

かくだい様

（有）篠原様

轟 捷夫様

野口商店様

ぬくもりの家様

萩原林業様

長生病院様

ぬくもりの家様

櫻井医院様

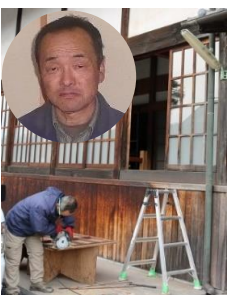
チョコ缶五個

草津ナウリゾートホテル様

奈良屋様

豊田建築株式会社 豊田 清様

本堂の窓枠が雨樋の破損で雨が打ち付け、窓の開閉がしづらくなっておりました。豊田様に綺麗に修復して頂きました。



雲林寺永代供養墓の建立

雲林寺永代供養墓の建立工事が今月より始まり、予定では年内に完成し、来年以降、納骨をはじめの予定です。

一般的なお墓と永代供養墓の違い

一般的なお墓では、管理・供養は責任者が請け負い、代々承継していくものですが、永代供養墓の場合は、寺院が管理・供養をいたします。また、永代供養墓の多くは合同でひとつのお墓に祀る合祀という形になるため、個別の墓標は用意されません。

具体的にいつまで供養してもらえるのか

雲林寺の永代供養墓は最長三十三回忌を予定しております。期間内は、定期的に個別で供養を行ったり、個人のお墓としてお参りすることが出来ます。この期間を終えたら他のご遺骨とともに収蔵されることとなります。

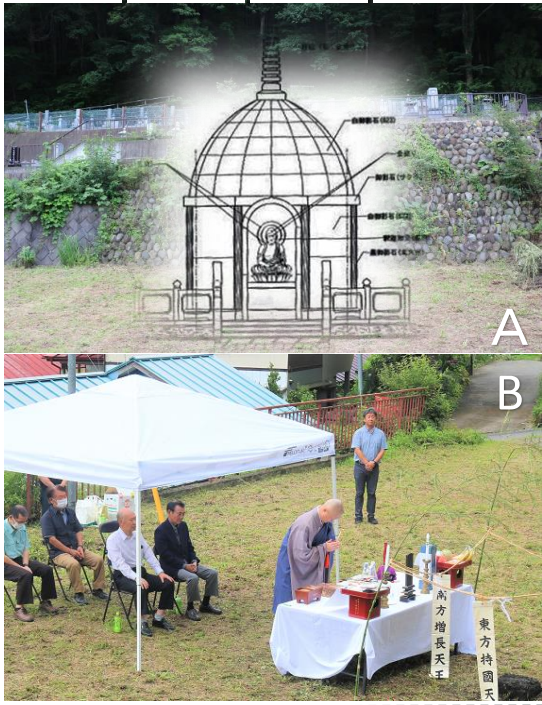
永代供養料とは

その場所を使用する料金、納骨したあとの供養費、墓誌に刻字する料金が含まれています。管理は、当山が責任をもって致します。

A 建立場所は忠霊塔西側、歴代住職の墓地の下の段になります。

お参りは雲林寺側、旧庁舎側から行けるように整備する予定です。参拝者の心が和む丸みのあるドーム型であることにこだわりました。

B 七月二十九日、地鎮式を行いました。「その土地に宿る神様に祈禱する」という神式に対し、仏式は「ご先祖様や周りの方たちに感謝の心を表す儀式」として行われます。



日頃からの御供養と

供養は故人との

コミュニケーション

いただきものをしたら、まず仏壇に供え、鈴を鳴らして、手を合わせる。ひと昔前の日本では日常的な光景でした。ご本尊や仏様となった先祖がいる仏壇が、生活の中に溶け込んでいたのです。

毎日の供養は、亡くなった親に話しかけるつもりで行えば、面倒でも難しいことでもありません。

朝は、「おはようございます」と仏壇の扉を開けて、水か一番茶を。目ざめのドリンクです。夜は、「おやすみなさい」と仏壇の扉を閉めます。生前、部屋を飾っていたように、仏壇にもお花を供えます。

お線香は、もちろんあげないよりあげたほうがよいのですが、忙しくても、手を合わせて「おはようございます」「おやすみなさい」と仏壇にあいさつだけはするようにしましょう。毎日の習慣になれば、生活のアクセントになり、一日の励みになるはずです。

供養とは、忘れないこと

さまざま事情で仏壇を置かない、置けない場合、ご先祖様や故人をどのように供養すればよいのでしょうか。

一番肝心なのは、故人を偲ぶ気持ちです。そこに仏壇や本尊あるいは位牌がなくても、遺影やお花だけでも飾ってあり、いつも心を向けられる場所であったなら、故人に想いは通じていくことでしょう。

その人を心に思い、願いを共にしながら生きていく事が出来れば、それはとても心強くなるのではなからうか。だからこそ私たちは生死を超えたい御縁です。



吾妻川水害殉難者慰霊法要並びに

天明三年浅間山噴火物故者供養

地震や津波、台風、異常気象などによって人命や社会生活に大きな被害が生じる災害。特に日本は、世界有数の災害大国といわれています。日本の位置や地形、地質、気象条件などにより、地震や津波、火山噴火、台風・大雨が発生しやすく、世界的な異常気象による影響も増えています。長野原の歴史にも過去大きな災害がありました。天明三年（一七八三年）八月五日に浅間山の大噴火があり、鎌原村の四八三名に次ぐおよそ二四〇名の方が犠牲になりました。昭和二十五年八月五日、台風による連日の豪雨で吾妻川は氾濫、この時、羽根尾の浜岩橋上で濁流の流れを見ていた小中学生を中心に十一名の方が落橋で帰らぬ人となりました。どちらの災害も偶然に八月五日で、慰霊法要に導師として修行させて頂きました。



① 吾妻川水害殉難者慰霊法要はぐんま想賓館で修行されました。姉二人を亡くされている一場茂樹様のお言葉が印象に残りました。② 浜岩橋の脇の吾妻川水害殉難者供養塔。碑文には「連日の豪雨に吾妻川は氾濫し濁流滔々（とうとう）と荒れ狂い浜岩橋諸共11名の人名呑む、無残さまわりなく」と記してあります。③ 落橋寸前に助かった安齋克三様が当時の様子を説明してくれました。「危機一髪禍を機転に人生を語る」（近代消防社刊）を執筆されています。④ 浅間山噴火物故者供養は毎年参道で修行します。今年は役場のビデオ制作の撮影が入りました。



梅花流たより

梅花流と共に

黒澤節子

梅花講員として皆様の仲間に入れて頂き、一緒にお唱えさせて頂けます事に感謝致します。最初は戸惑い、迷いもありましたが、皆様にお世話になりながら参加させて頂くうちに「この御縁を大切にしよう」と思い、今は諸先輩方との和の中で楽しい時間を過ごさせて頂いております。

お寺さんでの時間は、気持ちが高揚かになり癒やされます。その中で練習させて頂けること、学ばせて頂ける事に感謝しております。

また、大事な行事に参加させて頂き、皆様一緒に手を合わせ、お唱えさせて頂ける事に喜びと幸せを感じます。

平成二十九年の全国大会での永平寺参拝では、法堂において、報恩献詠が出来ました事、貴重な体験をさせて頂き、今でも心に残っております。これからも皆様との和を大切にしながら学びを続けていきたいと思っておりますので先生はじめ、諸先輩方のご指導宜しくお願い致します。



①



②



③



④

雲林寺では毎月2回2時間程度(詠歌(梅花流)の会がございます。参加費は無料です。詠歌は、ご供養の気持ちを心温まるメロディにのせて歌います。初めての方でも是非お気軽にお越しください。

- ① 一月十八日初観
- ② 梅花講新年会
- ③ ④ ⑤ 七月十一日、本堂大掃除をして頂きました。

三密

：実は仏教用語です。

「三密(さんみつ)」といえ、新型コロナウイルスの集団発生を防ぐための、三つの避けるべき密である「密閉・密集・密接」を思い浮かべる方が多いと思います。ところが、そもそも「三密」とは、真言宗をはじめとする密教の教えなのです。

仏教用語の三密は「身密(しんみつ)・口密(くみつ)・意密(いみつ)」といえます。これらを合わせて三密です。生命は「身・口・意(しん・く・い)」で構成されていると考えます。しかしこの「身・口・意」は煩惱を生み出すものなのです。例えば、自分勝手な行動をしてしまった・悪口を言ってしまった・人を傷つけてしまったなど、皆さんも反省したことがあるのではないのでしょうか。三密の修行とは、

- ・ 身密 (身体・行動)
 - ・ 口密 (言葉・発言)
 - ・ 意密 (こころ・考え) を整えることです。
- 「行動・言葉・こころ」の三つを整えることで、自身が仏さまであることに気付く、「生きたまま仏さまになる、即身成仏(そくしんじょうぶつ)」を達成するのです。

- 身密(しんみつ)は、からだ・行動の教え
- 自分の行動を見直し、大事なものを見極める
- みんなのいのちを守る行動を取る
- できる範囲でからだを動かす
- 手を洗い身を清める
- 自分勝手な行動はしない。自分さえよければそれでいいという気持ちで行動しない。
- 密(くみつ)は、こころ・発言の教え
- 自分の言動を見直し、正す
- 電話やインターネットなどを通して友人とたわいもない話をして気分転換する
- ありがとうと感謝の気持ちを口に出す
- うがいをしっかり行い、口を清める

編集後記

十月に予定されていた雲林寺親睦ゴルフコンペですが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、開催中止となりました。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。十二月三十一日の「除夜の鐘」は安全対策の元、通常通り行います。宜しくお願い申し上げます。

平成二十一年に雲林寺報の第一号を発行してから十一年の月日が経ちました。壇信徒皆様に少しでもお寺のことを知っていただき、その時々のお寺の状況を発信したいという思い、そして何よりもお寺をもっと身近に感じていただきたいという信念をもって作成し発行してまいりました。今は多くの壇信徒の皆様より励ましのお言葉をいただき、継続することの尊さを実感しております。そして前号より表紙のタイトルを『慈恩』とさせて頂きました。読んで字のごとく「慈しみ深い恩のこと」ですが、コロナ禍、皆様の慈恩に少しでも酬いるべく弁道精進を重ねてゆきたいものです。

大意 省吾

